

＝令和2年度 人権講演会開催＝

10月18日(日) 於 弥生コミセン
主催:弥生校区地域人権教育協議会



10月18日(日) 弥生校区地域人権教育協議会主催の令和2年度人権講演会を、弥生コミュニティセンター大会議室で定員一杯40名の参加で開催しました。

講師は毎年お招きをしています元三木市立公立学校校長「春川政信」様(今年で5回目)『コロナ差別等の身近な人権課題を考える』をテーマに、約1時間半にわたりコロナ禍の現況下、日本はじめ世界各地における、コロナ患者はじめ医療従事者(医師・看護師・またその家族)や物流従事者などへの、差別・誹謗中傷等の問題、インターネット上への不当で許せない書き込みの問題等の具体的な事例と、それらに対しての我々がとるべき正しい行動の大切さを熱く語っていただきました。

又、医療従事者をはじめコロナウイルス感染の状況下にもかかわらず、身の危険を冒して仕事に従事されている方々に対する「感謝のメッセージ・お礼の言葉」の数々も紹介いただきました。

コロナ禍の状況下での人権課題に対し、私たち市民が正しい理解と行動をすることの大切さを改めて気付いた講演会でした。

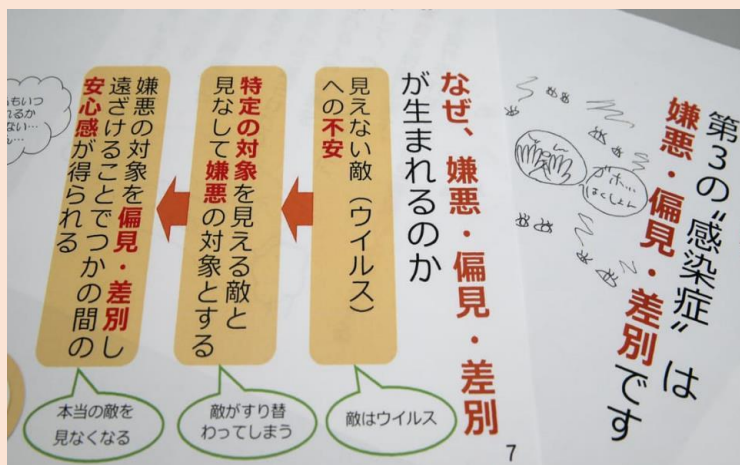


三田市人権推進課募集の人権標語に見事、弥生が丘校区から入選がありました
入選者：安田さゆりさん(1丁目地区長) 作品名「マスクでも 心の笑顔 忘れずに」

講演会で使用されたパワーポイントの中から、春川講師の了解を得て掲載しました

コロナ差別と人権

＝コロナ差別等の身近な人権課題を考える＝
弥生校区地域人権教育協議会・人権講演会
講師：春川政信



働く人々への感謝のメッセージ動画

三田学園高校の
有志
厳しい状況下の中
働く人々への感謝
メッセージ動画を
作成し発信



4. コロナ差別をなくす5つの方法

- 相手の立場に立って、考え行動する
- ① 支え合い・協力してこそコロナ禍を克服できる
- ② 正確な情報や医学の知識から判断する
- ③ インターネットを正しく活用する
- ④ 「自分と他の人を同時に大切にする」
WITHコロナ新生活
様式を身につける
- ⑤ 人権学習をみんな
続けていく



6 おわりに

- ① 差別や争い(ケンカ・悪口・戦争)はコロナ禍を拡大させてしまう。
- ② 人と人が心と力を合わせ、感謝し合い、協力することで、コロナ禍を克服し、みんなが笑顔になることができる。
- ③ 自分と他の人を同時に大切にする行動がとれるようにこれからも「人権学習」を続けていこう。